

ふれあいの橋の会

REPORT さかい

訪問日 2026年1月15日(木) 10:00 ~ 11:30

訪問先 デイハウスわたり、ピスターレわたり 境港市渡町 1422

出席者 【委員】 川口 昭一、中本 勝、遠藤 博江、遠藤 恵子

【さかいエリア】 濱田 壮 (さかいエリア総合施設長)

原田 篤 (デイハウスわたり・ピスターレわたり 管理者・主任)

杉山 千樹 (介護老人福祉施設みなと幸朋苑 主任相談員)

【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)



Sakai Area Report

■さかいエリアの現況

開会(荒井)：本日は、2010年8月に開設した「デイハウスわたり」と「ピスターレわたり」を見学していただきます。委員の皆さんには、配布しています評価表に基づき、施設内外を点検し、具体的な提言をお願いします。濱田総合施設長からエリアの現況を報告してください。

濱田総合：本年は正月早々の1月6日(火)10時18分頃、**島根県東部を震源とする地震**が発生し、境港市では、震度5強を記録しました。委員の皆さんは、いかがでしたか。さかい幸朋苑では、発生直後の10時33分に対策本部を立ち上げ、ご利用者の安全確認、施設内外の被害状況の確認、ご家族の安全確認をしました。さかい特養玄関のポーチの一部にズレがみられましたが、その他には大きな被害はありませんでした。境港市は、島根半島との地理的な関係性で、震度が高くなる傾向がありますが、地区によって数値が異なるようです。

介護認定者数は、今後も増加することが予測されています。人口統計は、ほぼそのとおりに推移しますので、将来予測を掌握し判断すれば、適正な事業運営ができるものと考えています。

大山

弓ヶ浜半島

島根半島

中海

遠藤博江委員：私たちは、2000年10月6日の鳥取県西部地震を経験していますが、比較すると今回の揺れは弱く感じました。幸い被害もなく、助かりました。

遠藤恵子委員：4歳と6歳の孫と同居していますが、初めての体験でとても怖かったようです。通園している保育園では、先生の指導で頭を守るようにして避難したそうです。

中本委員：地震などの自然災害は、いつ起きるか分かりません。災害に備えた備蓄品を準備しておこうと改めて感じています。また、避難所の確保も必要です。

濱田総合：こうほうえんの施設は、地震、津波など災害時での地域住民の避難場所に指定されています。避難訓練もされていますが、福祉避難所として位置付けていただければと思っています。

中本委員：誠道町は、鉄筋コンクリートの公営団地が建ち並んでいますが、避難所には公民館や幸朋苑が位置付けられています。

遠藤博江委員：市内には、こうほうえんの施設が多く配置されていますので、災害時には助かります。一人で生活している人は不安で、こうほうえんが頼りだと言っています。私たちの安心、安全になくってはならない存在だと思っています。



ビスターレわたり

デイハウスわたり

■施設概要と課題

荒井監事：管理者から施設概要を報告してください。運営上の課題があれば、含めて報告ください。

原田管理者：[デイハウスわたり](#)は、平成22年に開設し、今年8月で16周年を迎えます。小規模多機能型居宅介護事業所で、「通い」「泊まり」「訪問」の3つのサービスを受けられ、各利用者のケアプランも作成します。同じ環境で、馴染みのある職員が支援しますので、**関係性を築く**ことができるのが最大のメリットです。今回の地震でもそれぞれの状態に応じて**柔軟な対応**をしました。不安な人には「泊まり」の回数を増やしました。ビスターレでは、エレベーターの安全措置が作動し、復旧に時間を要しましたが、食事は各居室に配膳しました。備蓄品は3日分を常備しています。登録定員は29名まで可能ですが、現在は26名。通いの一日の定員は15名、泊まりは6名。利用料金は、1か月単位の定額制で、利用者の状態に応じて利用回数を調整。男性5名、女性21名、平均介護度2.0、平均年齢86.3歳が利用されています。[ビスターレわたり](#)は、住宅型有料老人ホームです。定員10名で、現在満床です。住まい、食事、安否確認を提供しています。平均年齢86.1歳で、4名が隣接のデイハウスわたりを利用されていますが、外部のホームヘルプのサービスを利用される人もあります。自家用車を保有し、利用されている人もあります。デイハウスでは、11月に秋祭りを開催。職員による大漁太鼓、マジック同好会、模擬店などに地域の皆さんが多数参加されました。コロナ禍で渡小学校との交流が途絶えていますので、今年はずいぶん復活させたいと考えています。

荒井監事：ビスターレには、1階に食堂を設けていますが、利用が少ないと感じていますがどうですか。隣接の畑は、どのように利用していますか。

原田管理者：4名がデイハウスで食事を取られますが、利用される人もあります。隣接地の畑では、サツマイモや野菜などを利用者と一緒に栽培しています。秋祭りには、焼き芋にして利用しました。収穫した野菜も食事に活用しています。

川口委員：私は渡町に住んでいますが、町民の多くが、ここに施設が開設されていることを知りません。幹線道路から離れているので、分かりにくいのかと思います。現在設置している看板が小さいので、**看板の工夫**をしてはどうですか。デイハウスわたりの**広報誌**「あいきょうわたり」を自治会で回覧していますが、1年に1回ぐらいは**カラー版**にできませんか。

原田管理者：看板の設置場所、方法などを検討します。広報誌は約120枚印刷しています。カラー版については、安価な方法を検討してみます。

荒井監事：市内には、こうほうえんが運営するデイハウスが3か所ありますが、どのような連携をされていますか。病院や地域包括支援センター、ケアプランセンターとの連携も大事です。どのような取り組みをしていますか。

原田管理者：3事業所とも登録定員を29名に設定しています。日々電話やメールで連絡し、利用申し込み状況に応じて調整をしています。

濱田総合：市内福定町に他法人が運営する事業所がありましたが、現在はこうほうえんの3事業所だけです。小規模多機能型施設は、在宅生活を継続するにはとても大事な施設だと位置づけています。済生会病院とは、日々連携していますので、関係性は良好です。



■施設内外の点検・提言

荒井監事：施設内を見学していただきました。配布しました評価表のチェック項目を照合し、気づいた点を指摘してください。

遠藤博江委員：見学時にはカードゲームをされていましたが、職員が利用者の状態を見ながら優しく接している姿が印象的でした。

原田管理者：本日は、ジョイサウンドでの体操を終えたばかりで、一息ついている時間帯でした。

中本委員：デイハウスは、介護度も軽度から重度まで、認知症状のある人も利用されており、職員は大変ですね。

原田管理者：職員も利用者も馴染みのある顔で、同じ施設環境にいるので安心感が生まれます。認知症の人には、かなり有効な施設だと思います。

杉山相談員：私は、みなと特養と新さかいのショートステイの相談員をしていますが、デイハウスの機能は、総合力があると感じています。事業所の強みになっていると思います。

遠藤恵子委員：地域には、一人暮らしの人が多く生活されています。地震などが発生するととても不安になりますが、ピスターレに入居している人は安心感があるでしょうね。

濱田総合：さかい幸朋苑では、ケアハウスや生活支援ハウスも運営しています。市が運営するシルバーハウジングもありますので、気軽に相談されたいと思います。

川口委員：施設内は、掃除が行き届いていました。掲示物も整理されていたのでいいと思います。

遠藤博江委員：すべてを綺麗にするのは大変です。中庭の片隅に不用品が積まれていましたので、片付けられることをお願いします。

濱田総合：本日も貴重なご提言をいただきました。改善に向けて取り組みたいと思います。

杉山相談員：次回は、**2月19日(木) 10:00～ 通所リハビリテーションさかい幸朋苑**です。

